岐阜	工業高等	専門学校	──│開講年度│平成31年度(	2019年度)	授業科目	測量実習 I		
科目基础								
4目番号		0042		科目区分	専門 / 必			
受業形態		実習		単位の種別と単位数	履修単位	: 2		
開設学科		環境都市		対象学年	2			
開設期		通年		週時間数	2			
教科書/教	<b>対</b> 材	測量1(		•				
旦当教員		廣瀬 康之	,					
到達目	 票	•						
1)距離測 2)角測量 3)トラバ 4)細部測		<b>⊒</b> Ł						
レーブリ	リック							
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベル	の目安	未到達レベルの目安		
可効数字 ハ方を理	と誤差や補 解し、測量	正値の取り扱 で使える。	有効数字と誤差や補正値の取り扱い方を理解し、測量で正確に使える。	有効数字と誤差や補い方を理解し、測量 使える。	正値の取り扱 でほぼ正確に	値の取り扱 ほぼ正確に		
A種測量 目できる		を理解し、使	各種測量器具の特性を理解し、正確に使用できる。	各種測量器具の特性 ぼ正確に使用できる		各種測量器具の特性を理解し、I 確に使用できない。		
き準点を	理解し、実	際の測量結果	基準点を理解し、実際の測量結果を正確に整理できる。	基準点を理解し、実		基準点を理解し、実際の測量結果を正確に整理できます。		
を整理で		マヤケー・	を正確に整理できる。	をほぼ正確に整理で		を正確に整理できない。		
!]里以米	で地形凶寺	で報告できる	測量成果を地形図等で正確に報告   できる。	測量成果を地形図等   報告できる。	ごはは止催に	測量成果を地形図等で正確に報告してきない。		
 学科の3	到達日煙T	 頁目との関				•		
<u>) 1700.</u> 数育方》		<u> </u>	NI.					
	ムザ	御皇に.20		羽但オス 甘士的+パロ	豊 (計油) ナ	注を羽伊・達成オスフレズ 節光+		
既要			要は機器の特性を理解し、取扱方法を 作成できる。	.日待りる。埜平的な识	里(可测)力	小で白付・珪队することで、間早ん		
THE - 144		測重字」	の講義内容を実践するため、測量学Ⅰ	の講義の進行から埋所	か遅れないよ	つにする。測量成果は、美省を美加		
受業 <i>の</i> 進	め方・方法	を目標と成績評価	して、理解を深めるとともに自己啓発 の方法・	に努めること。英語導	入:なし。			
注意点		を目標と 成績評価 前期:課 後期:課 学年:前	して、理解を深めるとともに自己啓発	に努めること。英語導 (100点) 、合計を3で (100点) 、合計を3で !点率(%)で成績をご	入:なし。 除し、得点率 除し、得点率			
注意点		を目標と 成績期: 出 説明: 出 で で は に で に で に い に り に い に り に り に り に り り り り り り り	して、理解を深めるとともに自己啓発の方法: 題提出2回(200点)、実技試験1回 題提出2回(200点)、実技試験1回 ・後期の重みを等しくして合計し、得 育目標 (D-3 計測・制御系)10	に努めること。英語導 (100点) 、合計を3で (100点) 、合計を3で は本 (%) で成績をこ 0 %	入:なし。 除し、得点率 除し、得点率 ける。			
注意点		を目標と成績評価前期:課課前後年・教	して、理解を深めるとともに自己啓発 の方法: 題提出2回(200点)、実技試験1回 題提出2回(200点)、実技試験1回 ・後期の重みを等しくして合計し、得	に努めること。英語導 (100点) 、合計を3で (100点) 、合計を3で 点率 (%) で成績を2 0 % 週 測 測	入:なし。 徐し、得点率 徐し、得点率 ける。 ごとの到達目様	<ul><li>(%) で成績をつける。</li><li>(%) で成績をつける。</li><li>(%) で成績をつける。</li><li>(%) で成績をつける。</li></ul>		
受業の進 主意点 受業計[		を目標に 価値 に しん を は で は で は で は で は で が で が で が で が で が で	して、理解を深めるとともに自己啓発の方法: 題提出2回(200点)、実技試験1回 題提出2回(200点)、実技試験1回 ・後期の重みを等しくして合計し、得 育目標 (D-3 計測・制御系) 1 0 授業内容	に努めること。英語導 (100点)、合計を3で (100点)、合計を3で 点率(%)で成績を2 0% 週。 測 注注	入:なし。 徐し、得点率 徐し、得点率 ける。 ごとの到達目標 最器具に共通の 意点を理解して	(%) で成績をつける。 (%) で成績をつける。		
注意点	画	を目標に 成類 : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	して、理解を深めるとともに自己啓発の方法: 題提出2回(200点)、実技試験1回 問提出2回(200点)、実技試験1回 ・後期の重みを等しくして合計し、得育目標(D-3計測・制御系)10 授業内容 ガイダンス(ALのレベルC) 距離測量 器具の取扱い(ALのレベル 距離測量 スチールテープ、エスロン法1(ALのレベルC)	に努めること。英語導 (100点) 、合計を3で (100点) 、合計を3で 点率 (%) で成績を2 0 % 週 別 注注 レC) 、	入: なし。 徐し、得点率 徐し、得点率 ける。 ごとの到達目様 置器具に共通の 意点を理解して ドールテープ、 ででして別量で	(%) で成績をつける。 (%) で成績をつける。 (%) で成績をつける。		
注意点		を は を は に に に に に に に に に に に に に	して、理解を深めるとともに自己啓発の方法: 題提出2回(200点)、実技試験1回 題提出2回(200点)、実技試験1回 き後期の重みを等しくして合計し、得育目標(D-3 計測・制御系)10 授業内容 ガイダンス(ALのレベルC) 距離測量 器具の取扱い(ALのレベル 正離測量 スチールテープ、エスロン法1(ALのレベルC) 距離測量 スチールテープ、エスロン法2(課題説明)(ALのレベルC)	に努めること。英語導 (100点) 、合計を3で (100点) 、合計を3で は点率 (%) で成績を2 0 %	入: なし。 徐し、得点率 徐し、得点率 ける。 ごとの到達目様 置器具に共通の 意点を理解して ドールテープ、 ででして別量で	(%) で成績をつける。 (%) で成績をつける。 (%) で成績をつける。 D取り扱いや校内での測量についてでいる。 エスロンテープの特徴を知り、取 エスロンテープの特徴を理解し、記さる。 エスロンテープの特徴を理解し、記さる。		
注意点	画	を は を は に に に に に に に に に に に に に	して、理解を深めるとともに自己啓発の方法: 題提出2回(200点)、実技試験1回 は	に努めること。英語導 (100点) 、合計を3で (100点) 、合計を3で は点な (%) で成績を20%	(入: なし。 (余) (お) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表	(%) で成績をつける。 (%) で成績をつける。 (%) で成績をつける。  D取り扱いや校内での測量についてにいる。  エスロンテープの特徴を知り、取  エスロンテープの特徴を理解し、 できる。  エスロンテープの特徴を理解し、 できる。  非徴を知り、取り扱える。		
意点	画	を目標に 成前期 (後) 学 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	して、理解を深めるとともに自己啓発の方法: 題提出2回(200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実践がよりに合いていたのでは、またのレベルでのというには、というには、は、のレベルでのでは、またのレベルでのでは、は、は、のレベルでのでは、は、は、のレベルでのでは、は、は、のレベルでのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	に努めること。英語導 (100点) 、合計を3で (100点) 、合計を3で 点点を(%) で成績をつ 0 %  週。  ルC)  ステープによる方  ステープによる方	入: なし。 徐はし、得点率 はし、得点率 がとの到達目標 にとの到達目標 になる。 でとのでは になる。 になる。 になる。 になった。 になる。 にな。 にな。 にな。 になる。 にな。 になる。 にな。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな	(%) で成績をつける。 (%) で成績をつける。 (%) で成績をつける。  (%) で成績をつける。  (%) で成績をつける。  (%) で成績をつける。  (で) では、では、できる。  (で) さる。  (で) さる。  (で) では、できる。 (で) では、できる。  (で) では、できる。 (で) では、できる。 (で) では、では、できる。 (で) では、できる。 (で) では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で		
受業計	画	を目標に 成前期 : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	して、理解を深めるとともに自己啓発の方法: 題提出2回(200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、制御系) 1 0  授業内容 ガイダンス(ALのレベルC)  距離測量 器具の取扱い(ALのレベルン)  距離測量 スチールテープ、エスロン法1(ALのレベルC)  距離測量 スチールテープ、エスロン法2(課題説明)(ALのレベルC)  セオドライト測量 器械の取扱い1(セオドライト測量 器械の取扱い2(セオドライト測量 器械の取扱い3(	に努めること。英語導 (100点) 、合計を3で (100点) 、合計を3で 点本 (%) で成績をつ 0 %   週  測 注  レC)  アープによる方 具 インテープによる方 具 ALのレベルC)  ALのレベルC)  セン ALのレベルC)  セン ALのレベルC) セン ALのレベルC) セン	入: なし。 (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注)	(%) で成績をつける。 (%) で成績をつける。 (%) で成績をつける。  ED取り扱いや校内での測量についてのでいる。  エスロンテープの特徴を知り、取  エスロンテープの特徴を理解し、 できる。  エスロンテープの特徴を理解し、 できる。  を対象を知り、取り扱える。  で地で据え付けられる。  で地で据え付けられる。		
受業計	画	を目標に 成前期 (後) 学 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	して、理解を深めるとともに自己啓発の方法: 題提出2回(200点)、実技試験1回 は	に努めること。英語導 (100点) 、合計を3で (100点) 、合計を3で (100点) 、合計を3で 点率(%)で成績を20%	入: なし。 (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注)	(%) で成績をつける。 (%) で成績をつける。 (%) で成績をつける。  ED取り扱いや校内での測量についてでいる。  エスロンテープの特徴を知り、取りできる。  エスロンテープの特徴を理解し、記さる。  エスロンテープの特徴を理解し、記さる。  エスロンテープの特徴を理解し、記さる。  「きる。 「おした」できる。  「おした」である。		
受業計	画	を目標に 成前期 : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	して、理解を深めるとともに自己啓発の方法: 題提出2回(200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技式以10人の上のは10人のとびには10人のといるとは10人のといるには10人のといるとは10人のといるといるには10人のといるには10人のといるといるには10人のとは10人のといるには10人のといるには10人のとは10人のといるには10人のといるには10人のといるには10人のといるには10人のといるには10人のといるには10人のといるには10人のといるには10人のといるには10人のといるには10人のといるには10人のとは10人のとは10人のとは10人のとは10人のとは10人のとは10人のとは10人のは10人のとは10人のは10人のは10人のは10人のは10人のは10人のは10人のは10人の	(100点) 、合計を3で(100点) 、合計を3で(100点) 、合計を3では100点) 、合計を3では点率(%) で成績を20%	入: なし。 徐徐し、 徐徐し、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	(%) で成績をつける。 (%) で成績をつける。 (%) で成績をつける。  (%) で成績をつける。  (%) で成績をつける。  (%) で成績をつける。  エスロンテープの特徴を知り、取  エスロンテープの特徴を理解し、 できる。 エスロンテープの特徴を理解し、 できる。  ないで据え付けられる。  では記え付けられる。  にもれたで据え付けられる。		
受業計	画	を は は は に に に に に に に に に に に に に	して、理解を深めるとともに自己啓発の方法: 題提出2回(200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技式以10人のとびりを発表している。	に努めること。英語導 (100点) 、合計を3で (100点) 、合計を3で 点本 (%) で成績を20%	入: なし。 (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注)	(%) で成績をつける。 (%) で成績をつける。 (%) で成績をつける。  ED取り扱いや校内での測量についてでいる。  エスロンテープの特徴を知り、取  エスロンテープの特徴を理解し、 できる。 エスロンテープの特徴を理解し、 できる。 を数を知り、取り扱える。 で地で据え付けられる。 これ地で据え付けられる。 これ地で据え付けられる。		
受業計	画	を 成前後学学 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	して、理解を深めるとともに自己啓発の方法: 題提出2回(200点)、実技試験1回 は	に努めること。英語導 (100点) 、合計を3で (100点) 、合計を3で (100点) 、合計を3で は点率 (%) で成績を20 %	(入: なし。 (なし、) (なし、) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な	(%) で成績をつける。 (%) で成績をつける。 (%) で成績をつける。  取り扱いや校内での測量についてない。  エスロンテープの特徴を知り、取  エスロンテープの特徴を理解し、 できる。  エスロンテープの特徴を理解し、 できる。  地で据え付けられる。 で地で据え付けられる。 たれ地で据え付けられる。 たれ地で据え付けられる。 をめられた時間内に据え付けられる。		
受業計	画	を 成前 を 成前 期期 に 調期 に の の の の の の の の の の の の の	して、理解を深めるとともに自己啓発の方法: 題提出2回(200点)、実技試験1回 問提出2回(200点)、実技試験1回 き後期の重みを等しくして合計し、得育目標(D-3計測・制御系)10 授業内容 がイダンス(ALのレベルC) 距離測量 器具の取扱い(ALのレベルで) 距離測量 スチールテープ、エスロン法1(ALのレベルC) 距離測量 スチールテープ、エスロン法2(課題説明)(ALのレベルC) セオドライト測量 器械の取扱い1(セオドライト測量 器械の取扱い3(セオドライト測量 器械の取扱い3(セオドライト測量 器械の取扱い4(セオドライト測量 異技試験(据付)C)	に努めること。英語導 (100点) 、合計を3で (100点) 、合計を3で (100点) 、合計を3で 点点 (%) で成績を20 (%) で成績を20 (%) で成績を20 (%) で成績を20 (%) で成績を20 (%) ではる方 (表記のレベルC) セストロレベルC) セストロレベル セストロレベルC) セストロレベルC) セストロレベルC) 単語	(入: なし。) (A: なし。) (A: なし。) (A: なし。) (A: なし。) (A: なし。) (A: 本のでは、	(%) で成績をつける。 (%) で成績をつける。 (%) で成績をつける。  (%) で成績をつける。  (%) で成績をつける。  (%) で成績をつける。  (で) での別量についてでいる。  エスロンテープの特徴を理解し、できる。 エスロンテープの特徴を理解し、できる。  を対し、取り扱える。  で地で据え付けられる。  を地で据え付けられる。  を地で据え付けられる。  を地で据え付けられる。  をもられた時間内に据え付けられる。  を関められた時間内に据え付けられる。  を関し、測量できる。		
受業計	画	を 成前後学学 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	して、理解を深めるとともに自己啓発の方法: 題提出2回(200点)、実技試験1回に表現には2回(200点)、実技試験1回に表現の重みを等しくして合計し、得育目標(D-3計測・制御系)10 授業内容 がイダンス(ALのレベルC) 距離測量 器具の取扱い(ALのレベルで) 距離測量 スチールテープ、エスロン法1(ALのレベルC) 距離測量 スチールテープ、エスロン法2(課題説明)(ALのレベルC)セオドライト測量 器械の取扱い1(セオドライト測量 器械の取扱い3(セオドライト測量 器械の取扱い4(セオドライト測量 実技試験(据付)C)セオドライト測量 単測法1(ALのレセオドライト測量 単測法1(ALのレセオドライト測量 増測法1(ALのレセオドライト測量 倍角法1(ALのレセオドライト測量 倍角法1(ALのレセオドライト測量 倍角法1(ALのレセオドライト測量 信角法1(ALのレセオドライト測量 信角法1(ALのレセカドライト測量 信角法1(ALのレセカドライト測量 信角法1(ALのレセカドライト)	に努めること。英語導 (100点)、合計を3で (100点)、合計を3で (100点)、合計を3で 点率(%)で成績を20%  レC) アープによる方 具で ALのレベルC) セス ALのレベルC セス ALのレベル セス ベバルC) 単派	(A) : かし。 (A) : かし。	(%) で成績をつける。 (%) で成績をつける。 (%) で成績をつける。  (%) で成績をつける。  (%) で成績をつける。  (%) で成績をつける。  (で) での別量についてのできる。  (で) エスロンテープの特徴を理解し、できる。  (で) エスロンテープの特徴を理解し、できる。 (で) できる。 (で) で据え付けられる。 (で) で据え付けられる。 (で) で据え付けられる。 (で) でおった時間内に据え付けられる。 (で) ではれ地で据え付けられる。 (で) ではればいで据え付けられる。 (で) ではればいではなけいのできる。  (で) というにはないできる。  (で) では、(が) では、(が) できる。  (で) では、(が) では、(		
受業計	直 1stQ	を 間に を は に に に に に に に に に に に に に	して、理解を深めるとともに自己啓発の方法: 題提出2回(200点)、実技試験1回 は	に努めること。英語導 (100点) 、合計を3で(100点) 、合計を3で(100点) 、合計を3では点率(%)で成績を20%  レC)	入: なし。 (注) なし。 (注) なし、 (注) は、 (注) は、 (注	(%)で成績をつける。 (%)で成績をつける。 (%)で成績をつける。  同期の扱いや校内での測量についてでいる。  エスロンテープの特徴を知り、取  エスロンテープの特徴を理解し、 できる。  地で据え付けられる。 をめられた時間内に据え付けられる。 をめられた時間内に据え付けられる。 をといるに、 をい		
受業計	直 1stQ	を 成前後学学 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 13週	して、理解を深めるとともに自己啓発の方法: 題提出2回(200点)、実技試験1回に表現には2回(200点)、実技試験1回に表現の重みを等しくして合計し、得育目標(D-3計測・制御系)10 授業内容 がイダンス(ALのレベルC) 距離測量 器具の取扱い(ALのレベルで) 距離測量 スチールテープ、エスロン法1(ALのレベルC) 距離測量 スチールテープ、エスロン法2(課題説明)(ALのレベルC)セオドライト測量 器械の取扱い1(セオドライト測量 器械の取扱い3(セオドライト測量 器械の取扱い4(セオドライト測量 実技試験(据付)C)セオドライト測量 単測法1(ALのレセオドライト測量 単測法1(ALのレセオドライト測量 増測法1(ALのレセオドライト測量 倍角法1(ALのレセオドライト測量 倍角法1(ALのレセオドライト測量 倍角法1(ALのレセオドライト測量 信角法1(ALのレセオドライト測量 信角法1(ALのレセカドライト測量 信角法1(ALのレセカドライト測量 信角法1(ALのレセカドライト)	に努めること。英語導 (100点) 、合計を3で(100点) 、合計を3で(100点) 、合計を3では点率(%)で成績を20%  レC)	入: なし。 (注) なし。 (注) なし、 (注) は、 (注) は、 (注	(%) で成績をつける。 (%) で成績をつける。 (%) で成績をつける。  (%) で成績をつける。  (%) で成績をつける。  (%) で成績をつける。  (で) での別量についてのできる。  (で) エスロンテープの特徴を理解し、できる。  (で) エスロンテープの特徴を理解し、できる。 (で) できる。 (で) で据え付けられる。 (で) で据え付けられる。 (で) で据え付けられる。 (で) でおった時間内に据え付けられる。 (で) ではれ地で据え付けられる。 (で) ではればいで据え付けられる。 (で) ではればいではなけいのできる。  (で) というにはないできる。  (で) では、(が) では、(が) できる。  (で) では、(が) では、(		
受業計	直 1stQ	を 間に を は に に に に に に に に に に に に に	して、理解を深めるとともに自己啓発の方法: 題提出2回(200点)、実技試験1回に表現には2回(200点)、実技試験1回に表現には2回に200点)、実技試験1回に表現の重みを等しくして合計し、得育目標(D-3計測・制御系)10  授業内容 ガイダンス(ALのレベルC)  距離測量 器具の取扱い(ALのレベルで)  距離測量 スチールテープ、エスロン法1(ALのレベルC)  距離測量 スチールテープ、エスロン法2(課題説明)(ALのレベルC) セオドライト測量 器械の取扱い1(セオドライト測量 器械の取扱い3(セオドライト測量 器械の取扱い4(セオドライト測量 実技試験(据付)に) セオドライト測量 単測法1(ALのレセオドライト測量 倍角法1(ALのレセオドライト測量 倍角法2(ALのレセオドライト測量 信角法2(ALのレセオドライト測量 信角法2(ALのレセオドライト測量 信角法2(ALのレセオドライト測量 方向法1(課題説	に努めること。英語導 (100点)、合計を3で (100点)、合計を3で (100点)、合計を3で は点率(%)で成績を20%   ルC) アープによる方 具 ALのレベルC) セン ALのレベルC) セン ALのレベルC) セン ALのレベルC) セン ALのレベルC) セン ベルC) 単派 ベルC) 単派 ベルC) 増派 ベルC) 増添いていた。 倍が ベルC) 倍が ベルC) 倍が ベルC) 倍が ベルC) 倍が	入: なし。 徐徐ける。 ※徐ける。 でと具を担っ。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	(%)で成績をつける。 (%)で成績をつける。 (%)で成績をつける。  同期の扱いや校内での測量についてでいる。  エスロンテープの特徴を知り、取  エスロンテープの特徴を理解し、 できる。  地で据え付けられる。 をめられた時間内に据え付けられる。 をめられた時間内に据え付けられる。 をといるに、 をい		
主意点	直 1stQ	を 成前後学学 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	して、理解を深めるとともに自己啓発の方法: 題提出2回(200点)、実技試験1回に表現には2回(200点)、実技試験1回に表現には2回に200点)、実技試験1回に表現の重みを等しくして合計し、得育目標(D-3計測・制御系)10  授業内容 ガイダンス(ALのレベルC) 距離測量 器具の取扱い(ALのレベルで) 距離測量 スチールテープ、エスロン法1(ALのレベルC) 距離測量 スチールテープ、エスロン法2(課題説明)(ALのレベルC) セオドライト測量 器械の取扱い1(セオドライト測量 器械の取扱い3(セオドライト測量 器械の取扱い4(セオドライト測量 実技試験(据付)とオドライト測量 に関議してとサイトのレセオドライト測量 に関議しては、2000年の表現に関係を表現しては、2000年の方には、20	に努めること。英語導 (100点)、合計を3で (100点)、合計を3で (100点)、合計を3で は点率(%)で成績を20%   ルC) アープによる方 具 ALのレベルC) セン ALのレベルC) セン ALのレベルC) セン ALのレベルC) セン ALのレベルC) セン ベルC) 単派 ベルC) 単派 ベルC) 増派 ベルC) 増添いていた。 倍が ベルC) 倍が ベルC) 倍が ベルC) 倍が ベルC) 倍が	入: なし。 徐徐ける。 ※徐ける。 でと具を担っ。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	(%)で成績をつける。 (%)で成績をつける。 (%)で成績をつける。  この取り扱いや校内での測量についてのでしている。 エスロンテープの特徴を知り、取りできる。 エスロンテープの特徴を理解し、記さきる。 エスロンテープの特徴を理解し、記さきる。 エスロンテープの特徴を理解し、記さきる。 エスロンテープの特徴を理解し、記さきる。 を対し、取り扱える。 これで据え付けられる。 これでによりに表え付けられる。 これでによります。 これでは、別量できる。 これできる。 これでは、別量できる。 これでは、別量できる。 これでは、別量できる。 これでは、別量できる。 これでは、別量できる。 これでは、別量できる。 これでは、別量できる。 これでは、別量できる。		
主意点 受業計[	直 1stQ	を 成前後学学 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 14週 14週	して、理解を深めるとともに自己啓発の方法: 題提出2回(200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、制御系) 1 0 授業内容 ガイダンス(ALのレベルC) 距離測量 器具の取扱い(ALのレベルン) (ALのレベルン) (ALのレベルC) 距離測量 スチールテープ、エスロン法1(ALのレベルC) (ALのレベルC) (ALのレベルC) (ALのレベルC) (ALのレベルC) (ALのレベルC) (ALのレベルで) (ALのレベルC) (ALのレベルで) (ALのレベルで) (ALのレベルで) (ALのレセオドライト測量 と対にライト測量 と対にライト測量 に対してオドライト測量 (ALのレセオドライト測量 倍角法1(ALのレセオドライト測量 倍角法2(ALのレセオドライト測量 (ALのレセオドライト測量 (ALのレセオドライト測量 (ALのレセオドライト測量 (ALのレセオドライト測量 (ALのレセオドライト) (ALのレセオドライト) (ALのレベルーク・フェール (ALのレベルーク・フェール (ALのレーク・フェール (ALのレーク・フェール (ALのレベルーク・フェール (ALのレベルーク・フェールーク・フェール (ALのレベルーク・フェール (ALのレベルーク・フェールーク・フェール (ALのレベルーク・フェールーク・フェール (ALのレベルーク・フェールーク・フェール (ALのレベルーク・フェールーク・フェールーク・フェール (ALのレイルーク・フェールーク・フェール (ALのレイルーク・フェールーク・フェールーク・フェール (ALのレイルーク・フェールーク・フェールーク・フェールーク・フェール (ALのレイルーク・フェールーク・フェールーク・フェールーク・フェールーク・フェールーク・フェール (ALのレイルーク・フェールーク・フェールーク・フェールーク・フェールーク・フェール (ALのレイルーク・フェールーク	に努めること。英語導 (100点) 、合計を3で(100点) 、合計を3で(100点) 、合計を3では点率(%)で成績を20%  レC)	入: なし。 (A) により、 (A) によ	(%)で成績をつける。 (%)で成績をつける。 (%)で成績をつける。  この取り扱いや校内での測量についてのいる。 エスロンテープの特徴を知り、取 エスロンテープの特徴を理解し、できる。 エスロンテープの特徴を理解し、できる。 エスロンテープの特徴を理解し、できる。 エスロンテープの特徴を理解し、できる。 エスロンテープの特徴を理解し、 できる。 エスロンテープの特徴を理解し、 できる。 エスロンテープの特徴を理解し、 できる。  を対し、測量できる。 といるには、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、		
主意点	直 1stQ	を は を は に に に に に に に に に に に に に	して、理解を深めるとともに自己啓発の方法: 題提出2回(200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (4) (200点)、実技試験1回 (4) (200点)、実技試験1回 (4) (200点)、表注(200点) (200点) (200ん) (	に努めること。英語導 (100点) 、合計を3で(100点) 、合計を3で(100点) 、合計を3では点率(%)で成績を20%  レC)	入: ひ。  (A)	(%)で成績をつける。 (%)で成績をつける。 (%)で成績をつける。  同ないる。  エスロンテープの特徴を知り、取りである。  エスロンテープの特徴を理解し、記さる。  エスロンテープの特徴を理解し、記さる。  本世で据え付けられる。  本地で据え付けられる。  お地で据え付けられる。  お地で据え付けられる。  をめられた時間内に据え付けられる。  理解し、測量できる。  理解し、測量できる。  理解し、測量できる。  理解し、測量できる。  理解し、測量できる。  理解し、測量できる。  となられた時間内に据え付けられる。		
主意点	直 1stQ	を 成前後学学 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 16週 10週 12週 13週 14週 15週 16週 16週 16週 16週 16週 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16	して、理解を深めるともに自己啓発の方法: 題提出2回(200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、実技試験1回 (200点)、表別の電みを等しくして合計し、有育目標(D-3計測・制御系)10  授業内容  ガイダンス(ALのレベルC) 距離測量 スチールテープ、エスロン法1(ALのレベルC) 距離測量 スチールテープ、エスロン法2(課題説明)(ALのレベルC) 上者ドライト測量 器械の取扱い1(セオドライト測量 器械の取扱い2(セオドライト測量 器械の取扱い3(セオドライト測量 器械の取扱い4(セオドライト測量 実技試験(据付)とオドライト測量 単測法1(ALのレセオドライト測量 単測法2(ALのレセオドライト測量 倍角法1(ALのレセオドライト測量 倍角法1(ALのレセオドライト測量 合角法1(ALのレセオドライト測量 方向法1(課題説ルC)トラバース測量 測角1(ALのレベルトラバース測量 測角2(ALのレベルトラバース測量 測角3(ALのレベルトラバース測量 測角3(ALのレベル	に努めること。英語導 (100点) 、合計を3で(100点) 、合計を3で(100点) 、合計を3で点点率(%)で成績を20%  レC)	<ul> <li>(A) により</li> <li>(A) により</li></ul>	(%)で成績をつける。 (%)で成績をつける。 (%)で成績をつける。  での取り扱いや校内での測量についてのでしている。 エスロンテープの特徴を知り、取 エスロンテープの特徴を理解し、できる。 エスロンテープの特徴を理解し、できる。 を対し、取り扱える。 を地で据え付けられる。 を地で据え付けられる。 を地で据え付けられる。 を地で据え付けられる。 を関し、測量できる。 を関し、測量できる。 と関解し、測量できる。 と対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対		
主意点 受業計[	直 1stQ	を 成前後学学 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 11週 12週 13週 14週 13週 14週 15週 16週 13週 14週 15週 16週 13週 16週 16週 16週 16週 16週 16週 16週 16	して、理解を深めるとともに自己啓発の方法: 題提出2回(200点)、実技試験1回に、接触の重みを等しくして合計し、得育目標(D-3計測・制御系)10  授業内容 ガイダンス(ALのレベルC)  距離測量 器具の取扱い(ALのレベルで)  距離測量 スチールテープ、エスロン法1(ALのレベルC)  距離測量 スチールテープ、エスロン法2(課題説明)(ALのレベルC) セオドライト測量 器械の取扱い1(セオドライト測量 器械の取扱い3(セオドライト測量 器械の取扱い4(セオドライト測量 実技試験(据付)C) セオドライト測量 増測法1(ALのレセオドライト測量 増測法2(ALのレセオドライト測量 倍角法1(ALのレセオドライト測量 倍角法1(ALのレセオドライト測量 倍角法1(ALのレセオドライト測量 信角法2(ALのレセオドライト測量 所向法1(課題説ルC) トラバース測量 測角1(ALのレベルトラバース測量 測角3(ALのレベルトラバース測量 測角4(ALのレベルトラバース測量 測角4(ALのレベルトラバース測量 測角4(ALのレベル	に努めること。英語導 (100点)、合計を3で(100点)、合計を3で(100点)、合計を3で成績を20% で成績を20% で成績を20% アープによる方 具 スラープによる方 具 ストープによる方 具 ストープによる方 具 ストープによる方 ストーグルベルC) センベルC) センベルC) センベルC) 増添 ベルC) 倍が ベルC) トープによる方 ストーグルグルC) センベルC) ローグルベルC) ローグルベルC) ローグルベルC) ローグルベルC) ローグルベルC) ローグルベルC) ローグルベルC) ローグルベルC) ローグルベルC) トープーグル トープーグーグル トープーグーグル トープーグーグーグ トープーグーグーグ トープーグーグ トーラーグーグ トーラーグーグ トーラーグ トーラーグ トーラーグ アース・カー・アーグ トーラーグ トーラーグ トーラーグ トーラーグ アース・カー・アーグ トーラーグ トーラーグ アース・カー・アーグ トーラーグ アーダー アー・アーグ アーグ・アーグ アーグ アーグ・アーグ アーグ・アーグ アーグ アーグ アーグ アーグ アーグ アーグ アーグ アーグ アーグ	は、	(%)で成績をつける。 (%)で成績をつける。 (%)で成績をつける。  (%)で成績をつける。  (%)で成績をつける。  (%)で成績をつける。  エスロンテープの特徴を知り、取 エスロンテープの特徴を理解し、できる。 エスロンテープの特徴を理解し、できる。  基礎を知り、取り扱える。  で地で据え付けられる。  され地で据え付けられる。  たれ地で据え付けられる。  をめられた時間内に据え付けられる。  理解し、測量できる。  理解し、測量できる。  理解し、測量できる。  理解し、測量できる。  理解し、測量できる。  と理解し、測量できる。  と理解し、測量できる。  と理解し、測量できる。  と理解し、測量できる。  と理解し、測量できる。  と理解し、測量できる。  と理解し、測量できる。  と理解し、測量できる。  と理解し、測角できる。  と理解し、測角できる。  と理解し、測角できる。  と理解し、測角できる。  と理解し、測角できる。  と理解し、測角できる。  と理解し、測角できる。		
主意点 受 <b>業計</b> [	即 1stQ 2ndQ	を成前後学学 週 1 週 2 週 3 週 4 週 週 週 週 週 1 1 3 週 1 3	して、理解を深めるともに自己啓発の方法: 題提出2回(200点)、実技試験1回に、接対の重みを等しくして合計し、有育目標(D-3計測・制御系)10 授業内容 ガイダンス(ALのレベルC) 距離測量 器具の取扱い(ALのレベルで) 距離測量 スチールテープ、エスロン法1(ALのレベルC) 距離測量 スチールテープ、エスロン法2(課題説明)(ALのレベルC) セオドライト測量 器械の取扱い1(セオドライト測量 器械の取扱い2(セオドライト測量 器械の取扱い4(セオドライト測量 と表しのレベルで)セオドライト測量 に角法1(ALのレセオドライト測量 倍角法1(ALのレセオドライト測量 倍角法1(ALのレセオドライト測量 倍角法1(ALのレセオドライト測量 倍角法1(ALのレセオドライト測量 信角法1(ALのレセオドライト測量 所分法1(課題説ルで)トラバース測量 測角1(ALのレベルトラバース測量 測角3(ALのレベルトラバース測量 測角4(ALのレベルトラバース測量 測角4(ALのレベルトラバース測量 測角5(ALのレベルトラバース測量 測角5(ALのレベルトラバース測量 測角5(ALのレベルトラバース測量 測角3(ALのレベルトラバース測量 測角4(ALのレベルトラバース測量 測角4(ALのレベルトラバース測量 測角5(ALのレベル	に努めること。英語導 (100点)、合計を3で(100点)、合計を3で(100点)、合計を3で成績を20%  レC) スラープによる方 具ったのレベルC) セストクレベルC) セストクレベルC) セストクレベルC) セストクレベルC) 増添 ベルC) 増添 ベルC) 倍が ベルC) (ALのレベル た)	は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	(%)で成績をつける。 (%)で成績をつける。 (%)で成績をつける。  同ないいでででででででででででででででででである。 エスロンテープの特徴を理解し、できる。 エスロンテープの特徴を理解し、できる。 エスロンテープの特徴を理解し、できる。 エスロンテープの特徴を理解し、できる。 エスロンテープの特徴を理解し、 できる。 エスロンテープの特徴を理解し、 できる。 エスロンテープの特徴を理解し、 できる。 「できる。 「できる。 「できる。 「できる。 「となられた時間内に据え付けられる。 「となられた時間内に据え付けられる。 「となられた時間内に据え付けられる。 「となられた時間内に据え付けられる。 「となられた時間内に据え付けられる。 「となられた時間内による。」 「となられた時間内による。」 「となられた時間内による。」 「となられた時間内による。」 「となられた時間内による。」 「はなられた。」 「はなられたいる。 「はないのできる。」 「はないのではないのではないのではないのではないのではないのではないのではないので		
主意点 受業計[	直 1stQ	を 成前後学学 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 11週 12週 13週 14週 13週 14週 15週 16週 13週 14週 15週 16週 13週 16週 16週 16週 16週 16週 16週 16週 16	して、理解を深めるとともに自己啓発の方法: 題提出2回(200点)、実技試験1回に、接触の重みを等しくして合計し、得育目標(D-3計測・制御系)10  授業内容 ガイダンス(ALのレベルC)  距離測量 器具の取扱い(ALのレベルで)  距離測量 スチールテープ、エスロン法1(ALのレベルC)  距離測量 スチールテープ、エスロン法2(課題説明)(ALのレベルC) セオドライト測量 器械の取扱い1(セオドライト測量 器械の取扱い3(セオドライト測量 器械の取扱い4(セオドライト測量 実技試験(据付)C) セオドライト測量 増測法1(ALのレセオドライト測量 増測法2(ALのレセオドライト測量 倍角法1(ALのレセオドライト測量 倍角法1(ALのレセオドライト測量 倍角法1(ALのレセオドライト測量 信角法2(ALのレセオドライト測量 所向法1(課題説ルC) トラバース測量 測角1(ALのレベルトラバース測量 測角3(ALのレベルトラバース測量 測角4(ALのレベルトラバース測量 測角4(ALのレベルトラバース測量 測角4(ALのレベル	に努めること。英語導 (100点) 、合計を3で(100点) 、合計を3で(100点) 、合計を3での場点を10分 で成績を20分 で成様を20分 で成した。 ステープによる方 具 ステープによる方 具 ストープによる方 人具 ALのレベルC) セン ALのレベルC) セン (ALのレベルC) セン (ALのレベルC) 増添 ベルC) 増添 ベルC) 倍が ベルC) トラムC)	は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	(%)で成績をつける。 (%)で成績をつける。 (%)で成績をつける。 (%)で成績をつける。  (%)で成績をつける。  (%)で成績をつける。  エスロンテープの特徴を知り、取  エスロンテープの特徴を理解し、できる。 エスロンテープの特徴を理解し、できる。 を改を知り、取り扱える。  ではまえ付けられる。 をいて据え付けられる。 をいたにはなけられる。 をいられた時間内に据え付けられる。 をいられた時間内に据え付けられる。 をいられた時間内に据え付けられる。 をといり、測量できる。 をといり、測量できる。 をとない、測量できる。 ととない、測量できる。  ととない、測量できる。  ととない、測量できる。  ととない、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には		

7週

8週

トラバース測量 測角8 (ALのレベルC)

実技試験(測角) (ALのレベルC)

トラバース測量の計算を進め、測量精度の判定ができる。

セオドライトによって、決められた時間内に単測法で 測量できる。

		9週	平板》		板測量 器械の取扱い (ALのレベルC)		平板測量の器具の特徴を知り、取り扱いできる。					
4		10週	.0週 平		平板測量 細部測量1 (ALのレベルC)			平板測量の器具の特徴を知り、据え付けできる。				
		11週	週  平板》		板測量 細部測量2(ALのレベルC)			トラバース測量の成果を元に、平板測量で細部測量できる。				
		12週	] 平板源		页測量 細部測量3 (ALのレベルC)		トラバース測量の成果を元に、平板測量で細部測量できる。					
		13週	週 平板流		川量 細部測量	量4(課題説明)(ALのレベルC)		測点を増設して、測量できる。				
		14週	週 平板》		川量 細部測量	量5(ALのレベルC) 測点を増設して、測		測量できる	量できる。			
		15週	]	平板測	川量 細部測量	量6(ALのレベルC)		平板測量の成果を製図にできる。				
		16週	]									
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標												
分類		5	分野		学習内容	学習内容の到達	目標			到達レベル	授業週	
						実験装置や測定器の操作、及び実験器具・試薬・材料の正しい取 扱を身に付け、安全に実験できる。		正しい取	3	前2,前3,前 5		
			工学実験技 術(各種測定 方法、デー タ処理、考			実験データの分析、誤差解析、有効桁数の評価、整理の仕方、考察の論理性に配慮して実践できる。			3	前4,前14		
基礎的能力						実験テーマの目的に沿って実験・測定結果の妥当性など実験データについて論理的な考察ができる。			3	前14		
	】 1  工学基础	17			定 術(各種測定 -  方法、デー    夕処理、考	実験ノートや実験レポートの記載方法に沿ってレポート作成を実践できる。			3			
	, , , , , , , ,					実験データを適切なグラフや図、表など用いて表現できる。			3			
		9	察方法)	)	察方法)	実験・実習を安全性や禁止事項など配慮して実践できる。			3	前1		
						個人・複数名での実験・実習であっても役割を意識して主体的に 取り組むことができる。			3	前1		
						共同実験における基本的ルールを把握し、実践できる。			3	前1		
						レポートを期限内に提出できるように計画を立て、それを実践できる。			3	前1		
専門的能力						距離測量について理解し、器具を使って測量できる。			4	前3,前4		
	分野別の フ 学実験・	別の工 建設系名 験・実 【実験・		分野 ・宝	; 建設系【実 験実習】	トラバース測量について理解し、器具を使って測量できる。			4	前15,後 1,後2,後 3,後4,後 5,後6,後7		
	習能力		習能力】			セオドライトによる角測量について理解し、器具を使って測量で きる。			4	前5,前6,前 7,前8,前 9,前10,前 11,前12,前 13,前14		
評価割合	評価割合											
	試馬	検		レフ	ポート課題					合計	+	
総合評価割合 32		68			0	0	0	0	100	)		
		0		18		0	0	0	0	18		
専門的能力		32		50		0	0	0	0	82		
分野横断的	分野横断的能力 0			0		0	0	0	0	0		